

衛生材料

ク丁砦ニ水源ヲ求メ五臺ノ自動貨車ニ「ブツク製水槽、」ドラム罐ヲ以テ搬水シ將兵ノ賞讃ヲ博シタリ本作戦開始以來二十三日迄十一日間ノ給水量二六四石ナリ
衛生材料ノ補給ハ極メテ困難ナリシモ各隊之カ節用ニ努メ患者ノ多發ニ拘ラス概ネ支障ナキヲ得タリ
師團三義砦附近集結後ハ五月二十七日、六月一日ノ兩日ニ亘リ主トシテ戦傷用材料九六梱ヲ衛生材料廠道口鎮出張所ヨリ補給ヲ受ケ次テ六月五日「アルコール」外一七梱ノ第二回目空輸ヲ受ク

第四節 戦傷統計

第一款 部隊別及兵種別戦死傷

計	傷 戦		死 戦		區 部	
	官士准 下 以	校 將	官士准 下 以	校 將	分	隊
11	8		2	1	D	
362	299	9	51	3	I	歩
229	173	6	47	3	II	二
161	127	8	25	1	III	
243	194	6	41	2	I	歩
255	200	10	42	3	II	五
364	264	7	93	3	III	九
326	232	5	87	2	I	歩
311	241	9	59	2	II	一
231	158	7	65	1	III	五
230	195	5	30		I	歩
300	221	6	70	3	II	五
236	195	7	34		III	〇
32	20		12		/SK	
71	54	2	15		I	野
33	36		2		II	砲
84	62	2	20		III	二
33	31		2		IV	〇
16	14			1	RST	
134	105	2	25	2	/SP	
1	1				I	輜
18	17		1		2	一
2			2		3	
17	13	1	2	1	4	四
3			3		5	
12	11		1		1	
24	17	2	5		2	S
4	2		2		3	
7	5	1	1		2FL	
7	5	1	1		DTL	
3761	2900	96	737	28	計	

部 隊 別 死 傷 表

部隊別 七六五名戦傷三九六名ニシテ百分比ヲ以テ觀察スレハ戦死二〇。 本作戦間（自四月十五日）ニ發生セル戦死傷者ハ三七六一名内戦死 三%戦傷七九・七%ニ相當ス之ヲ部隊別ニ區分スレハ次表ノ如シ

尙兵種別ニ觀レハ次表ノ如シ

兵種別

兵種別死傷表

區分	戦死	戦傷	計	%
歩兵	六五五	二、五〇九	三、一六四	八四・三
騎兵	八	一五	二三	〇・六
砲兵	三八	一七四	二一二	五・六
工兵	二三	九八	一二一	三・二
輜重兵	三三	一四九	一八二	四・八
經理部	一	三	三	〇・一
衛生部	八	四五	五三	一・四
獸醫部	一	三	三	〇・一
計	七六五	二、九九六	三、七六一	一〇〇・〇

兵器別

戦死傷者三七六一名ヲ兵器別ニ區分スレハ次ノ如シ

第二款 戦傷ノ種類別

區分	實數	比率	區分	實數	比率
銃創	二三六四	六二・九	手榴彈創	二九四	七・八
砲創	九二九	二四・七	白兵創	一六	〇・四
爆創	一〇三	二・七	其他	五四	一・四

本表ヲ觀ルニ砲創及爆創、手榴彈創ノ高率ナルヲ特徴トス是即火砲裝備優秀ナル敵ト交戦シ而モ近接戦闘多カリシカ爲ナリ今既往諸戦役事變ト比較示表スレハ次ノ如シ

戦役	銃創	砲創	爆創(手榴彈創ヲ含ム)	白兵創	其他
日清戦役	八八・三	九・〇	—	二・七	—
日露戦役	七九・七	一六・九	二・五	〇・九	—
滿州事變	七五・一	一三・八	八・三	一・八	〇・九
本戦闘	六二・九	二四・七	一〇・五	〇・四	一・四

戦死者
別ノ兵器

次ニ戦死七六五名ニ就テ調査スレハ次ノ如シ

爆創	砲創	銃創	區分	實數	百分比	區分	實數	百分比
二七	一四七	五七二						
三・五	一九・二	七四・八						
其 他	白 兵 創	手 榴 彈 創						
一	一	一八						
一	一	二・四						

戦傷者
別ノ兵器

更ニ戦傷二九六名ニ就テ觀察スレハ次ノ如シ

爆創	砲創	銃創	區分	實數	百分比	區分	實數	百分比
七六	七八二	一、七九二						
二・五	二六・一	五九・八						
其 他	白 兵 創	手 榴 彈 創						
五四	一六	二七六						
一・八	〇・五	九・二						

第三款 戦傷ノ部位別

身体ヲ頭、頸、胸、背、腹、臀、上肢、下肢ノ八部位ニ分チ兵器ニ因
リテ損傷セラレタル受傷ノ頻度ヲ調査スレハ次ノ如シ

部 位 別 死 傷 表

區分	頭部	頸部	胸部	背部	腹部	臀部	上肢	下肢	其他	計
戦死	二七九	三二	二〇七	二三	一三四	一四	一〇	二九	三七	七六五
戦傷	四一三	八七	二二九	二四六	一六八	一四七	七六〇	八五七	八九	二、九六六
計	六九二	一一九	四三六	二六九	三〇二	一六一	七七〇	八八六	一二六	三、七六一
%	一八・四	三・二	一一・六	七・二	八・〇	四・三	二〇・五	二三・六	三・四	一〇〇・〇

即戦傷ノ最も多發セル部位ハ下肢ニシテ上肢、頭部、胸部、腹部ノ順序ナリ

而シテ戦死ニ在リテハ頭部、胸部及腹部ノ受傷特ニ多ク反之戦傷ニ在リテハ四肢多シ